

●受難節第三主日

泉のほとり

今日の詩編「第一四二篇」

あなたに向かつて両手を広げ

渴いた大地のようになわたしの魂を

あなたに向けます。



主イエスの真実

礼拝では毎週、神さまの話がなされます。でも皆さんの中には、神さまって本当にいるのだろうか、と思っっている方もおられるでしょう。日本の社会では、神はいないと思っっている人が大部分だからです。でも神さまがおられなかったら、わたしたちはどうなるでしょう。

わたしたちが住んでいる地球は、宇宙のちりが集まってできたものです。その上で生きています。わたしたちも、宇宙のちりの寄せ集まりです。だいぶ前に、ある中学生が先生に、どうして人を殺してはいけないのか、と質問したら、先生は答えられなかったそうです。ちりの集まりがちりに帰ったところで、大したことではありません。

でも神さまは「殺してはならない」と言われます。人は神さまにとって大切な存在だからです。人間の尊厳を支えるものは、神さまです。だからその神さまを教えるために主イエスが来てくださいました。十字架でわたしたちの罪を贖って、わたしたちが神さまのところへ帰れるようにしてくださいました。

主イエスは神さまですが、人間と同じように生活されました。でも一度だけ、本当の姿をお見せになったことがあります。ペトロとヤコブとヨハネの三人を連れて、高い山へ登られた時です。山の上で主イエスのお姿が変わりました。ほこりにまみれた顔は大陽のように輝き、汚れて黄色く

なった衣服は光のようになりました。しかもよく見ると、主の他に二人、モーセとエリヤが現れて、エルサレムでなされることについて、主イエスと語り合っています。それを見たペトロが、ここに仮小屋を二つ建てましょうと言いました。すばらしい光景だと思っただけです。でも何もなく雲が一同を覆い、その中から神さまの声が聞こえました。そして雲が晴れた時、元どおりの姿の主イエスが立っっておられたのです。彼らは、ほんの一瞬间だけ、見えない世界を見せていただいたのです。

わたしも若い頃、父親と一緒に高い山に登ったことがあります。あいにく頂上は厚い雲に覆われて何も見えません。でも父が東を指さして、こっちに富士山がある、と言います。見ても何も見えません。でも父は「見えなくてもある」と言います。北を指さして、こっちは八ヶ岳があるといます。見えなくてもある、というのです。見えなくても、あるものがあるのです。

イギリスの作家であるC・S・ルイスが「影の国に別れを告げて」という本を書いています。影の国とは、今わたしたちが生きている世界です。これは本物の国ではない、影の国だと言うのです。本当の国は、天にあるからです。そしてそこでは、本当のわたしたちが、生きるのです。

(マタイ一七、一〜九)

いまだ習わぬこと

私は神に感謝する、私の仕える神に……

テモテへの第二の手紙、章二節

我らの在り方また持ちものは、
あなたから、
我らの造り主にして救い主なる
あなたからのもの

あなたに我らはこうして在ることを
感謝する。

しかし我らはそれを忘れ、
あなたから来たものを
心から逐いやつて
あなたに感謝しなかつた。

こうして我らにはあなたに忘恩を返し、
我らの空（から）の心と
我らの悪事を返す。

私に感謝することを教えてください、

私が

目 で見るものに

耳で聞くものに、

口で味わうものに、

花で嗅ぐものに、

肌で感じるものに感謝することを。

見えぬものに感謝することを、

私に教えてください、

すでに見えるものの内に経験している

見えぬものに。

神は我々にその無数の恵みのわざによつて、喜び感謝する新たな根拠を繰り返し示してください。

エペソ人への手紙五章二〇節への

カルヴァンの言葉

R・ボーレン 「祈る」より

今日のお知らせ

○ 第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、園舎一階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○ 第二礼拝後、ホールで讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○ 再来週一八日は三月教会総会です。来年度の課題や計画を決める大事な総会です。教会員はご参加ください。資料が快送しに配布されています。

○ 今日（三月）は三月総会準備のための教会員懇談会を開きます。総会に提案される案件について詳しい報告と討議がなされます。教会員は、配布された資料を持ってご参加ください。

○ 九日（金）午後二時から、東京神学大学と大学院の卒業式があり、宮間彰広兄が大学院を卒業されます。式には古村牧師が列席します。

○ 教会員の皆さまにお願いがございます。3月・4月と状況しに多くの資料が配布されますので、各自の状況内の讃美歌や古い資料を移動して頂き、整理整頓にご協力をお願いいたします。また貴重品ロッカーが必要な方は事務所にお声掛けください。

み神の力は

Singing the strictly power of God
 詞：Isaac Watts, 1674-1748

FOREST GREEN
 曲：イザリス作曲

(♩=96)

聖書の会へどうぞ

3月7日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「神の言葉を無にせず」

マタイ15章1〜9節

吉村和雄牧師

●聖書の夕べ(19時)

「誰が一番偉いか」

ルカ22章24〜30節

吉村和雄牧師

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌讃2・363番

説教「神の業が現れるために」

聖書ヨハネ9章1節〜12節

説教者 黄允湜副牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌140番 341番

詩編第143編

説教「完全な者になりなさい」

聖書IIコリント13章11節〜13節

説教者 吉村和雄牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃美歌21 363番

やさしい目が

説教 「永遠の命の水を」

聖書 ヨハネ4章1節～15節 (新約P168)

司式 山下純一 兄

説教者 聖餐司式 古村和雄 牧師

前奏曲 「神より我離れじ」 D.グスタフ

○ 讃美歌21 363番

1. み神の方は 山を起こし

海原を広げ 空を造る

深い知恵により 日は輝き

月は照りわたり 星もめぐる

2. み神はめぐみで 地を満たして

造られたものを よしとされた

見よ その不思議は 大海にも

わが歩む地にも 大空にも

3. 花も木も示す 主のみ栄え

雨雲も風も 主に従う

すべてのもの 皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる

○ フルートによる讃美

「ソナタBWV529 第2楽章」 J.S.バッハ

○ やさしい目が

1. やさしいめが きよらかなめが

きょうもわたしを みていてくださる

「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる

2. おおきなてが あたかいてが

きょうもわたしを ささえてくださる

「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる

3. かぎりのない ひろいところが

きょうもわたしをまもってくださる

「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる

聖餐曲 無伴奏パルティータBWV1013 より

「サラバンド」 J.S.バッハ

後奏曲 「フーガ・ブレノ」 F.メンデルゾーン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 139番 341番

詩編 第143編 (旧約P983)

説教 「手を伸ばしてさわり」

聖書 マタイ8章1節～4節 (旧約P13)

司式 山下純一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允湜 副牧師

前奏曲 「イエス、わが喜び」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 139番

○ フルートによる讃美

「ソナタBWV529 第2楽章」 J.S.バッハ

○ 聖歌隊による讃美

「み使いくだりて」 G.A.コッ

ひとり 十字架負い 歩みゆく主

全ての人に自由 与えるため

この世の十字架を 我らも負い

みあと踏みゆかん 旅路終わるまで

ああイエス 我が主 われ待ち望む

み使いくだりて 救い来る日

尊き主の十字架 栄光の冠

甦りの日 救いの日よ

ああイエス 我が主 われ待ち望む

み使いくだりて 救いあらわる日 甦りの日

○ 讃美歌 341番

聖餐曲 無伴奏パルティータBWV1013 より

「サラバンド」 J.S.バッハ

後奏曲 「フーガ・ブレノ」 F.メンデルゾーン

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎回お持ちください。